

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	庁舎施設維持管理事務	担当課	管財課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-01 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成2年10月に庁舎が完成し、維持管理事務が始まった。	庁舎や敷地の維持管理を業務委託により行う。庁舎については守谷市公共施設等総合管理計画に基づき、適宜改修工事を行う。令和3年度～4年度の2箇年計画で、庁舎増築工事の基本・実施設計などを行う。また、庁舎外壁改修工事や駐車場整備工事などの工事を行う。また、市役所庁舎を含む各公共施設の維持管理などを一括で管理する「公共施設包括管理業務」の検証を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
庁舎や付帯設備の維持管理を行い、市民や職員が快適に利用できるようにする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
庁舎竣工後29年が経過し、庁舎及び備品等の老朽化に伴い修繕費等が増加している。また、庁舎駐車場の不足や庁舎施設が手狭になってきている。	≪ 庁舎増築 ≫ R2…庁舎増築基本計画の策定 R3～R4…庁舎増築 実施設計 R5～R6…庁舎増築工事 ≪ 庁舎駐車場 ≫ R2…用地取得 R3～R4…駐車場整備工事 ≪ 修繕工事等 ≫ R2…議会棟外照明改修工事 R2…外壁防水改修工事設計 R3…外壁防水改修工事 R1～R2…庁舎空調改修工事 ≪ その他…R4・R5・R6予定 ≫ エレベータ交換工事…R6 非常用発電機等更新工事…R6 天井補強工事（内部タイル修繕含む）…R6 庁舎電話交換機設備更新…R6 食堂改修工事…R7 庁舎LED化改修工事…R7
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
計画的に庁舎の大規模修繕などを進めることで施設の長寿命化を図る。また、庁舎駐車場や庁舎の増設・増築を検討する。	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度の実績（評価、課題への対応）
	庁舎の老朽化等に伴い、庁舎外壁等改修工事や議会棟他照明改修工事を実施した。また、令和3年度から令和4年度の2か年計画で庁舎増築・改修工事の基本・実施設計を現在実施している。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
突発的な修繕件数（件）	35.00	18.00	25.00	18.00	32.00	25.00	15.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	次年度以降に計画している、庁舎増築・改修工事の予算確保や実施設計等を進めることで、成果を向上させる。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	令和5年度以降、庁舎増築・改修工事等を実施することにより、一時的に事業費が上昇する。					

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	347,489	686,693	324,595	235,385	235,385
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	180,000	387,000	106,000	0	0
	その他	3,246	3,350	95,294	131,130	131,130
	一般財源	164,243	296,343	123,301	104,255	104,255
正職員人工数（時間数）		540.00	777.00	1,091.00	1,091.00	1,091.00
正職員人件費		2,216	3,145	4,221	0	0
トータルコスト		349,705	689,838	328,816	235,385	235,385

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	普通財産維持管理事業	担当課	管財課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-02 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
普通財産の適正管理を行うため。	未利用市有地は入札等により売却し、財源確保を図る。また、業務委託により除草等を行い維持管理を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
利用計画のない市有財産の有効活用を図るとともに、除草等の適正管理を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
利用計画のない市有地の維持管理費用が生じている。	≪市有地の売却≫ ○予定地 ・久保ヶ丘四丁目28地内（約500㎡） ・百合ヶ丘三丁目字向原地内外 平成式典側 1388.23㎡ セブンイレブン側 393㎡ ≪予定≫ 7～8月 売却方針の検討 9～3月 調査業務（不動産鑑定） R3.4月以降 契約行為（入札等）の実施
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
売払可能な市有地については売却を行う。 売約可能な市有地を売却するために調査業務等の委託を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度を取組（評価、課題への対応）
	<p>今年度、百合ヶ丘二丁目2697番32（地籍68㎡）及び同番120（地籍0.17㎡）の2筆を売却した。そのほか、未活用地については、管理上必要最低限の経費で除草等の維持管理を行った。また、旧市庁舎バス車庫解体工事を実施した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
貸付面積（㎡）	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,209.00	10,347.00	10,209.00
売却面積（㎡）	387.00	676.36	0.00	7,488.23	10.45	68.17	1,388.20
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<p>貸付面積については、板戸井地内において、敷地内への進入路として貸付したことによる増加した。また、百合ヶ丘地内の2筆（計68.17㎡、3,012,900円）を売却をしたことにより、管理面積が縮減した。</p>						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>未活用地については、必要最低限の維持管理経費が発生するので、売却の可能性を検討するとともに売却できるものは売却し、管理面積の削減に努める。</p>					

コストの推移						
項目	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込	
事業費	計	24,963	34,351	46,614	12,542	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,070	1,399	1,198	1,153	0
	一般財源	23,893	32,952	45,416	11,389	0
正職員人工数（時間数）	174.00	359.00	511.00	511.00	511.00	
正職員人件費	714	1,453	1,977	0	0	
トータルコスト	25,677	35,804	48,591	12,542	0	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	公用車配置事務	担当課	管財課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-04 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>公用車が増加し効率的な配置及び管理が必要になったため。</p>	<p>公用車の状態管理を行い、適正な車両の購入、廃車を行うとともに、任意保険の加入事務及び事故があった際の保険事務を行う。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>公用車の適正な管理を行い、効率的な利活用を進める。また、公用車の一元管理を行うことで、公用車台数の削減や事務の効率化を図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>公有財産の有効活用と適切な管理を行う。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>公用車の配置や維持管理・更新が適正に行えている。</p>	<p>特になし。</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>特になし。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p><input type="checkbox"/>増加 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>削減</p>	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度の実績（評価、課題への対応）
	公用車の管理について、任意保険の加入、車検、修繕等の維持管理を一元管理方式により行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
一元管理公用車稼働率（年間：日単位）（%）	0.00	59.31	59.74	59.04	52.21	52.20	66.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	今年度についても、コロナ禍の影響で、会議等の縮小やWeb会議への移行し、出張等の機会が減ったことにより、昨年同様ほぼ横ばいとなっている。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	現在、管財課で管理している一元管理対象の公用車数を増やすことにより、適切な配置車両を選定を行い、経費削減に努めていく。					

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	14,274	13,055	15,675	15,980	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	348	0	0	0	0
	一般財源	13,926	13,055	15,675	15,980	0
正職員人工数（時間数）		201.00	158.00	336.00	336.00	336.00
正職員人件費		825	640	1,300	0	0
トータルコスト		15,099	13,695	16,975	15,980	0